



空白期間を乗り越えた支援
(11月号「ふたたび動き出す
国と経済を結ぶ道造り」を読んで)

ミャンマーの道路・橋梁整備では、政変によるODAの中止にもかかわらず技術者や研究者の交流が続き、現在の支援につながっていることが素晴らしいと思えました。30年以上にわたる日本の取り組みに、関係者の方々の並々ならぬ思いと、日本・インドシナの深いつながりを感じました。
(東京都 / 30代 / 男性)

「感染症対策」2018年12月号

さまざまなプレイヤーが活躍
(12月号「特集 感染症対策」を読んで)

関西ペイントの防蚊塗料には驚きました。エボラウイルス迅速診断キットを開発したデンカ生研や結核対策の研究をしている東京大学など、いろんな方がJICAを通じて途上国の感染症対策に貢献していることがよくわかりました。
(鳥取県 / 50代 / 女性)

環境保護と観光収入
(12月号「地球ギャラリー」を読んで)

熱帯雨林気候帯で生活する人々が自然とどう向き合っているのか、世界最大の熱帯材合板の輸入国である日本の国民として、真剣に考えなければならないと思いを巡らしました。
(大阪府 / 60代 / 男性)

《アンケートのお願い》

プレゼント
付き

JICAや記事内容についてのご意見、ご感想をお待ちしております。また、こんな企画を実施してほしいなどのご希望もぜひお寄せください。お寄せくださった方の中から、抽選でプレゼントを差し上げます。下記項目をお書き添えのうえ、巻末のアンケートはがき、Eメール、またはファクスでお送りください。

- 氏名 ●住所 ●電話番号 ●年齢 ●性別 ●職業
- 本誌を入手した場所 ●面白かった記事 ●本誌へのご意見・ご感想
- JICAへのご意見・ご質問 ●ご希望のプレゼント番号

*お寄せくださったご意見・ご感想は、本誌やJICAのウェブサイトに掲載する場合があります。あらかじめご了承ください。ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送および誌面の向上に役立てること以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◎応募締め切り 2019年3月15日

[2019年2月号のプレゼント]



① 書籍
『効果的な利他主義 宣言！
慈善活動への科学的アプローチ』
ウィリアム・マカスキル 著、
千葉敏生 訳 みすず書房
1名様



② ルワンダのカゴ
18.4×5.5cm
2名様



③ ラオスのポシェット
女性の自立支援を行う「ホ
アイホン職業訓練センター」
製作。天然素材を用いる伝
統的な手法で染色。
12.5×8.7cm (ヒモ56cm)
2名様

mundi

FEBRUARY 2019 No. 65
編集・発行：独立行政法人 国際協力機構
Japan International Cooperation Agency (JICA)
〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25
二番町センタービル
TEL: 03-5226-9781 FAX: 03-5226-6396
URL: <http://www.jica.go.jp/>

制作協力：株式会社 木楽舎
〒104-0044 東京都中央区明石町11-15
ミキジ明石町ビル6F 『mundi』編集部
TEL: 03-3524-9572 FAX: 03-3524-9675
Eメール: ML_JICAPR@jica.go.jp

- アンケートの送付、定期送本、バックナンバーの取り寄せに関するお問い合わせは木楽舎までお寄せください。
- 本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。



定期送本のご案内

●申込方法

巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送本期間・送付開始月号を明記の上、所定の金額(送料+手数料)を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送の手配をいたします。入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください。

*複数冊、またはバックナンバーをご希望の場合は送料が異なりますので『mundi』編集部(木楽舎)までお問い合わせください。

次号予告(2019年3月1日発行予定)

3月号 特集 ジェンダー平等を目指して

3月8日の「国際女性デー」にちなんで、ジェンダーに起因する暴力や女性のエンパワーメント推進などの課題について考えます。暴力被害者の自立や社会復帰の支援、加害者への対応など、JICAが取り組む活動を紹介いたします。



『mundi』バックナンバーはJICAのウェブサイトをご覧ください。
<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>